

子どもを感染症から守ろう 非接触型体温計を配付



こども園PTAの遠藤翼会長（前田・八和木／中央）、
学園PTAの庄司幸夫会長（草野／右側）に贈呈

村は、新型コロナウイルス感染予防の対策として、村内の子育て世帯77世帯、「いいたて希望の里学園」「までのりの里のこども園」に、非接触型体温計を配付しました。贈呈式は、配付に先がけて、6月8日に行われ、菅野村長が、学園とこども園それぞれのPTA会長に、体温計を手渡しました。この体温計は、直接皮膚に触れることなく、短い時間で検温ができます。学園やこども園では来客の検温などに活用できる他、保護者からは「忙しい朝に助かります」などの声が寄せられています。

飯舘村スポーツ推進委員 スポーツ活動の推進に

飯舘村教育委員会は、スポーツ活動に取り組む10人の皆さんに、スポーツ推進委員を委嘱しました。村では、委員の皆さんに、スポーツ活動の推進、スポーツ関連事業実施の連絡調整、講習会での実技指導などを行っていただいています。

委嘱状の交付式は、5月21日、「いいたてスポーツ公園」の会議室で行われ、遠藤教育長が、委員の代表に委嘱状を手渡しました。任期は令和4年の3月31日までです。委員長には、大内亮さん（八木沢・芦原）が選任されました。



あいさつする遠藤教育長。委員は、球技、陸上、太極拳などさまざまなスポーツで活躍する皆さんです

交通事故死者ゼロ 1,000日を達成しました



宇佐見会長（左から4人目）から、関係機関の代表らと共に、表彰状を受け取る菅野村長

村は、6月13日午前0時に、交通事故死ゼロの継続1,000日を達成しました。同15日には、村役場で、関係機関の代表らも出席して表彰状の伝達式が行われ、来庁した宇佐見明良相双地方交通対策協議会長（県相双地方振興局長）から、菅野村長が表彰状を受け取りました。菅野村長は、「この1,000日という期間、死亡事故がなかったことをありがたく思う。2,000日、3,000日と長く続くよう、皆さんに交通安全を心がけてほしい」と述べ、関係者には引き続きの協力を依頼しました。

社会教育委員会議 社会教育の向上に協力をいただきます

5月28日、「いいたてスポーツ公園」の会議室で、今年度最初の社会教育委員会議が開かれ、委員となる皆さんに委嘱状が交付されました。社会教育委員は、「社会教育法」に基づき県及び市町村に設置されるもので、学校教育関係者や社会教育関係者の他、家庭教育の向上に資する活動を行っている方々に委員を委嘱。その知見や意見を、社会教育行政に反映しています。委嘱状の交付は、遠藤教育長が行いました。任期は令和4年の3月31日までです。



遠藤教育長が委嘱状を交付。委員長には星貴弘さん（上飯樋／写真右）が選任されました

主任児童委員として18年 厚生労働大臣から表彰状



全村避難の間も続けられた長年の活動に感謝をこめて、菅野村長が表彰状を伝達しました

平成13年から令和元年までの18年間、主任児童委員として、村の子育て世代を支えてこられた長正サツキさん（大久保・外内）のご尽力に対し、厚生労働大臣より表彰がありました。表彰状の伝達は、6月18日、村役場の村長室で行われました。長正さんは、「たくさんの方の協力のおかげで委員を続けられました。特に印象に残っているのは子育てサロンの立ち上げです。たくさんの親子と思い出を共有し、自身も成長できる貴重な時間でした」と委員活動を振り返りました。

フェイスシールドの寄贈 新型コロナウイルス感染予防に

6月2日、「福島しんたつロータリークラブ」と「仙建工業福島親和会」から、新型コロナウイルス感染予防に役立つフェイスシールド1,000枚の寄贈をいただきました。村役場で寄贈を受けた菅野村長は、「活動にこめられた奉仕の精神に敬意を表すると共に、継続的な支援に改めて深く感謝します」と思いを伝えました。村では、寄贈されたフェイスシールドを、「いいたて希望の里学園」や「いいたてホーム」をはじめ、必要とされるさまざまな施設で活用することを検討しています。



同ロータリークラブの斎藤俊雄会長（右側）、同親和会の西川博美会長（中央）から寄贈を受ける菅野村長